

## 「理科」学習の仕方

### 1. 教科の目標

- 自然の事物・現象に対する関心を高める
- 目的意識をもった観察，実験などを行い，科学的に調べる能力と態度を育てる
- 自然の事物・現象についての理解を深める
- 科学的な見方や考え方を養う



### 2. 本校での学習の特徴

- 自然の事象に触れるなかで問題を見だし，意欲的に探求する活動を通して，規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させます。
- 実験計画を考えたり，結果を予想したりすることにより，目的意識をもって観察，実験などを行い，観察・実験技能を習得させるとともに，その結果を考察し，自分の考えを導き出し表現させます。
- タブレットドリルなど ICT 教材の活用により，科学的な見方や考え方を養い，定着をはかります。

### 3. 家庭学習

- 授業で学習したことをぼーとフォルオにまとめ，授業で学習したことを定着させましょう。
- タブレットドリルを使って，復習や発展問題に取り組みましょう。
- 生活の中から疑問に思うことなどを，ポートフォルオに記入し，授業で共有することで，協同的な学びをしていきましょう。



### 4. 評価にかかわって

#### (1) 「知識及び技能」

概念や原理・法則の理解，科学的探究や問題解決に必要な観察・実験等の技能などを評価します。

#### (2) 「思考力・判断力・表現力等」

科学的な探究能力や問題解決能力などを評価します。

#### (3) 「主体的に学習に取り組む態度」

主体的に探究したり，問題解決しようとしたりする態度などを評価します。

#### 観点別評価の方法

- (1) 単元末テスト，定期試験，小テストで評価します。
- (2) 単元末評価問題，定期試験，レポートの記述で評価します。
- (3) ポートフォルオの記述，授業中の発言，提出物の内容，行動観察で評価します。

5. 年間指導計画

	1年（105時間）	2年（140時間）	3年（140時間）
一 学 期	<p>いろいろな生物とその共通点 （25時間）</p> <p>1 生物の観察と分類のしかた 2 植物の分類 3 動物の分類</p>	<p>化学変化と原子・分子 （32時間）</p> <p>1 物質のなり立ち 2 物質どうしの化学変化 3 酸素がかかわる化学変化 4 化学変化と物質の質量 5 化学変化とその利用</p> 	<p>化学変化とイオン （29時間）</p> <p>1 水溶液とイオン 2 酸, アルカリとイオン 3 化学変化と電池</p> 
	<p>身のまわりの物質 （10時間）</p> <p>1 身のまわりの物質とその性質 2 気体の性質</p>	<p>生物のからだの つくりとはたらき （23時間）</p> <p>1 生物と細胞 2 植物のからだの つくりとはたらき</p>	<p>生命の連続性 （26時間）</p> <p>1 生物の成長と生殖 2 遺伝の規則性と遺伝子 3 生物の多様性と進化</p>
二 学 期	<p>（14時間）</p> <p>3 水溶液の性質 4 物質のすがたと状態変化</p>	<p>（13時間）</p> <p>3 動物のからだの つくりとはたらき 4 刺激と反応</p>	<p>運動とエネルギー （29時間）</p> <p>1 物体の運動 2 力のはたらき方 3 エネルギーと仕事</p>
	<p>身のまわりの現象 （24時間）</p> <p>1 光の世界 2 音の世界 3 力の世界</p>	<p>天気とその変化 （31時間）</p> <p>1 気象の観測 2 雲のでき方と前線 3 大気の動きと日本の天気</p>	<p>地球と宇宙 （24時間）</p> <p>1 地球の運動と天体の動き 2 月と金星の見え方 3 宇宙の広がり</p>
三 学 期	<p>大地の変化 （27時間）</p> <p>1 火をふく大地 2 動き続ける大地 3 地層から読み取る大地の 変化。</p> 	<p>電気の世界 （35時間）</p> <p>1 静電気と電流 2 電流の性質 3 電流と磁界</p> 	<p>地球と私たちの未来のために （26時間）</p> <p>1 自然のなかの生物 2 自然環境の調査と保全 3 科学技術と人間 4 持続可能な社会を作る ために</p>
	<p>学年のまとめ （5時間）</p>	<p>学年のまとめ （6時間）</p>	<p>学年のまとめ （6時間）</p>